

12月17日に群馬県知事を訪問

群馬県では、災害に強く、持続可能な社会を構築し、県民の幸福度を向上させるため、2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ」を宣言し、県内市町村にも賛同を呼び掛けています。本市においても同取り組みの趣旨に賛同し、取り組みを進めていきます。

この宣言の達成には、市民の皆さまや、事業者の皆さまのご理解とご協力が不可欠です。

私たちが当事者として今からできることを考え、行動していきましょう。



温室効果ガス排出による地球温暖化は、令和元年の台風19号や夏場の猛暑、ゲリラ豪雨のような異常気象を発生させ、私たちの生活を脅かしています。地球温暖化を防止するためには、皆さまの行動が必要です。

防災

宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

- ・自宅や職場での備蓄
- ・防災訓練への参加 など



宣言3 災害時の停電「ゼロ」

- ・再生可能エネルギーの活用 など



宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

- ・公共交通機関や自転車・徒歩で移動する など



宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

- ・ごみは分別する
- ・マイバッグ、マイボトルなどを利用する など



宣言5 食品ロス「ゼロ」

- ・食材は、食べ切れるだけ買う など



私たちに
できること

環境



これからも皆さまにさまざまな形で、「5つのゼロ」をお知らせします。

2050年に向けた

みどり

5

～未来のこどもたちの笑顔のために
／環境に配慮した持続可能なまち、みどり～

つのゼロ宣言

みどり市では、地球温暖化に伴う急激な気候変化・異常気象、地球規模で進行する環境問題に取り組むべく、12月17日に「みどり5つのゼロ宣言」をしました。

未来の子どもたちが笑顔で暮らせるよう、市・市民・事業者の協働により、災害に強く持続可能なまち「みどり市」を構築していきます。

問い合わせ先 生活環境課環境政策係 ☎ (76)0985

宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

あらゆる災害に備えた「災害に強いまちづくりの推進」と「市民の防災意識の向上」により、自然災害による死者「ゼロ」を目指します。

宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

市内の豊富な日照時間と森林資源を最大限活用し、「再生可能エネルギーの利用増進」を図るとともに、「環境に優しい移動手段の推進」と「ごみ排出量削減の推進」により、温室効果ガス排出量実質「ゼロ」（カーボンニュートラルの実現）を目指します。

宣言3 災害時の停電「ゼロ」

市有施設をモデルケースに「エネルギーの地産地消を推進」するとともに、「非常用電源の確保」により、災害時の停電「ゼロ」を目指します。

宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

「5Rの啓発・促進」と「リサイクルの推進」により、市民・事業者と協働し、ごみの減量化を図り、プラスチックごみ「ゼロ」を目指します。

宣言5 食品ロス「ゼロ」

「事業者・家庭からの廃棄食品削減」と「食育の推進」により、機運を高めて廃棄食品削減を推進し、食品ロス「ゼロ」を目指します。

人材育成

「みどり5つのゼロ宣言」の達成に向け、現在の取り組みの主役を担う市民や事業者、宣言目標の2050年（約30年後）に取り組みの主役を担う小・中学生を対象とした人材育成に努めます。